



こころに残る景観資源発掘プロジェクト

こころに残る ひとの営み 景観 眺望 岸和田市



目次

- P.02 こころに残るひとの営み、眺望 景観マップ
- P.03 こころに残るひとの営み景観
- P.05 こころに残る眺望景観
- P.08 こころに残るひとの営み景観応募者エピソード集
- P.09 こころに残る眺望景観応募者エピソード集
- P.10 こころに残る景観資源 これまでの指定資源一覧
- P.12 プロジェクトの系譜



ここに残るひとの営み、眺望景観マップ



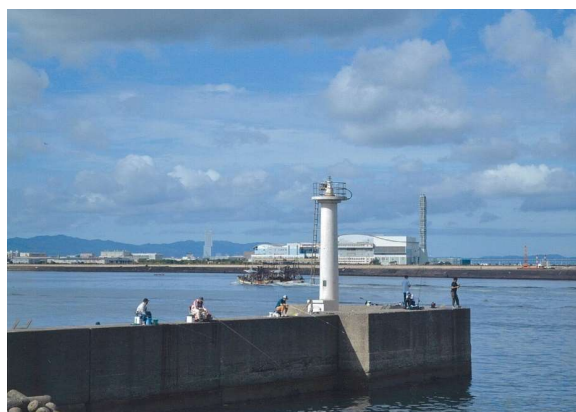
こころに残るひとの営み景観

01 たくさん釣りたい

木材コンビナートの白灯台があるこの場所は、岸和田市内の釣り人の誰もが知っており、親しまれている場所である。魚釣りは昔からある手軽なレジャーとしての営みであり、深く市民生活に溶け込んだ景観となっている。



木材町



02 春の訪れを告げる「いかなご」漁

岸和田漁港では鰯巾着網漁業を主としており、大阪府下でも上位の水揚げ量を誇っている。きれいに漁船が並ぶ港は、日々自然と向き合って作業をする漁師の方々の活気と、マルシェにやってくる人たちの賑わいが感じられる。今後も岸和田の象徴となるひとの営み景観を受け継いでいってもらいたい。



地藏浜町



03 農業まつり

中央公園で開催される行事の一つとして、30年来開催されてきた農業まつりがある。当日は農産物の直売所などたくさんの催しがあり、多くの市民が集まる一大イベントになっている。また、公園内の樹木などもきれいに管理されており、自然と人々が織りなす営みや賑わいが色濃く感じられるひとの営み景観である。



西之内町



04 岸和田観音 節分

古より災害や疫病から身を守るために祈ってきた人々の様子がわかり、歴史と賑わいが感じられる営み景観である。境内は普段から美しく管理されており、市民の暮らしに溶け込みながらも四季折々の趣が感じられる。後世に継承してもらいたい景観である。



五軒屋町



こころに残るひとの営み景観

05 頼もしい応援団と歴史的なまちなみ（本町）

だんじりの後ろを追いかける応援団の存在は、地町への愛着や賑わいや親しみを感じさせてくれる。古くから受け継がれてきた歴史的なまちなみと祭りの風景は、今も昔も地元の方々から愛され、生活に溶け込んだ景観である。今後も地域固有の魅力を感じさせる市民の誇りであってほしい。



本町



06 岸和田城とだんじり祭り

岸和田だんじり祭りは市民が一番集まり関わっている岸和田ならではの人の営みであり、歴史や伝統、賑わいや親しみが感じられる。また、岸和田城は岸和田のシンボルであり、城と祭りは市民にとって欠かせないものである。今後も、地域固有の魅力を感じさせる市民の誇りであってほしい景観である。



岸城町



07 古代の人々の営みを思い私たちは確かめる

久米田寺に隣接する久米田公園内に貝吹山古墳、風吹山古墳、無名塚古墳があり、その周辺にもいくつかの古墳が存在することから、その地域は久米田古墳群と言われ、大阪府の史跡名勝にも指定されている。小高い古墳の上に立ったとき、古代のロマンと現代との結びつきが感じられた。これから後世に語り継いでほしい。



池尻町



08 久米田寺千本搦き

久米田寺では、お正月の恒例行事として「千本搦き」が行なわれている。多くの子ども達が、一斉に棒状の杵で餅を持ち上げる様子はとても楽しげでまた誇らしげでもある。歴史あるお寺での行事は、地域の子供達にとっても歴史を感じられ、岸和田の歴史と文化を色濃く感じさせる景観になっている。



池尻町



ここに残るひとの営み景観

09 田を潤す久米田池

世界かんがい施設遺産などに指定されている久米田池は、僧行基によって造られてから何百年もの期間、田を潤し米を育て、人々の生活を支えてきた池である。今も昔も変わらず、地域の人々の農の営みを支えており、今後も生活景として地域に馴染んで語り継がれていくことを期待する。



池尻町



10 東葛城小学校・幼稚園（東葛ふれあいファーム）の田植え風景

神於山の麓にある農地の一角に「東葛ふれあいファーム」がある。農業体験は非常に良い取り組みで、子ども達にとっても貴重な体験であり、いい思い出となるだろう。学校と地域の繋がりが感じられるひとの営み景観である。



河合町



ここに残る眺望景観

11 木材町の貯木場周辺

昭和41年に完成した木材コンビナートの貯木場（約76ha）は、原木輸出量の規制等により原木取扱量が減少したため、現在水面の大半が低利用ではあるが、海面から出るコンクリート杭の風景は不思議な光景であり、他には見られない特徴的な景観となっている。貯木場の片隅に少量ではあるが貯木の風景が残り、かつて栄えていた海の産業がイメージできる近代的なここに残る眺望景観である。



木材町

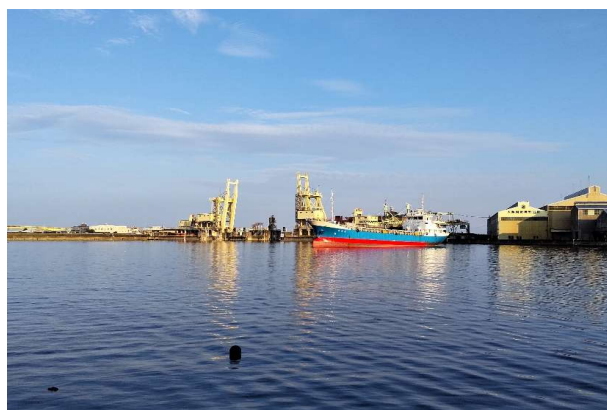


12 岸和田カンカンベイサイドの岸和田水門

カンカンベイサイドモールに隣接する岸和田旧港の沖合には岸和田水門がある。この水門は、通常時は旧港内外に出入りする船舶の航路になっており、津波や高潮の際には扉を海中に下ろし、外部からの海水の流入を防ぐ目的がある。現地から海を眺めた時、水門前をゆっくり進み、工業地に接岸する業務船から、港湾の産業が感じ取れる眺望景観となっている。



港緑町



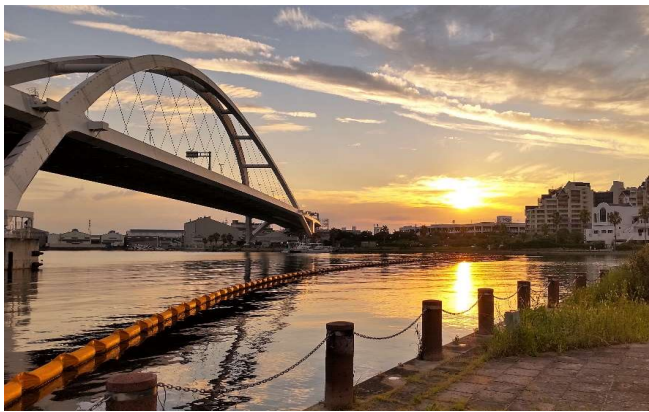
ここに残る眺望景観

13 岸和田カンカンベイサイドの日の出の風景

白く雄大な岸和田大橋（阪神高速湾岸線）の下には、旧港再開発事業として平成10年よりカンカンベイサイドモールとその周辺に遊歩道が整備された。人工の土木建造物の狭間から明け方の太陽が水面に映り、光る海と相まって朝の清々さが伝わってくる眺望景観である。



港緑町

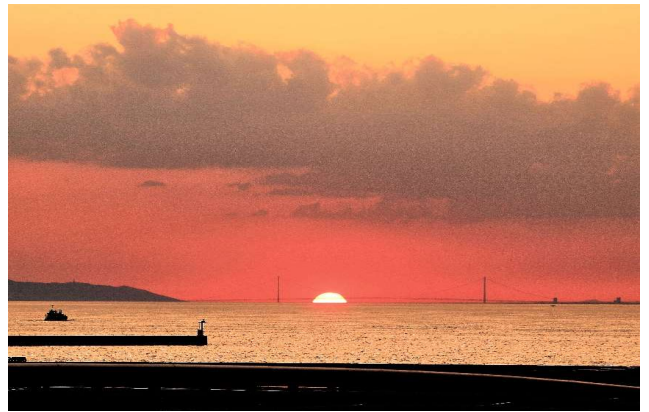


14 地蔵浜の夕景

地蔵浜町から阪南2区（ちきりアイランド）へ繋がる岸之浦大橋は自転車歩行者道路と区分されており、歩いて渡ることができる。橋の上から淡路島へ繋がる明石海峡大橋も見ることができた。夕日が沈む時に見られたこの景色はとても美しく、水平線へ沈む夕日と海面や、夕焼け空が山から海へとつながる景観は、岸和田の特徴でもあり、岸之浦大橋からの眺望をより多くの方に見ていただきたい。



地蔵浜町



15 望郷～岸和田城の天守閣から～

平成29年に「続日本100名城」に選定されている岸和田城には年間平均入場者数、約4万人が訪れる。天守閣からは、国の名勝に指定されている「八陣の庭」や、紀州街道沿いにある瓦屋根の歴史的なまちなみを望むことができる。また、祭礼の宮入時には、12町のだんじりが、お堀の周りに列を成し、城下町とだんじり祭りの風景が、いつまでもここに残るものと容易に理解できる。岸和田城を下から眺める景色と共に、市内を360°眺められる岸和田城天守閣からの景色も多くの方に体験してもらいたい眺望景観のひとつである。



岸城町



16 神於山

神於山は、古から「神の於わす山」として、地元住民から崇拝され、里山として大切に守られている。農地整備された神於山改良区に接する道沿いからは、その神於山の全景を眺めることができ、空・雲・山と田園と組み合わせられ、穏やかでもあり伸びやかで神秘的な線形が見ることができる。普段、何気なく生活する中で、少し意識することにより、発見できた眺望景観であり、これからも地域住民に愛される景観として継承されるであろう。



尾生町

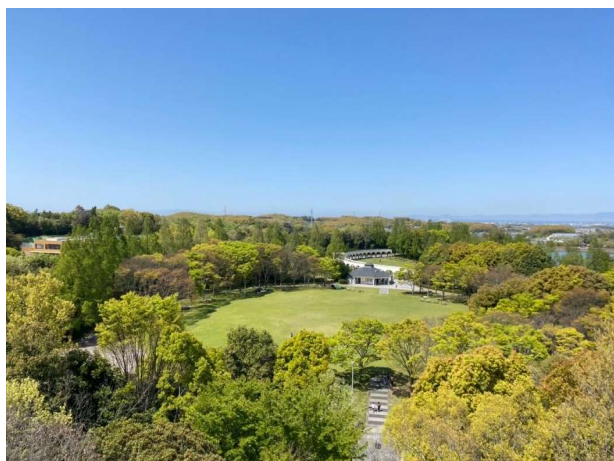


17 蜻蛉池公園の展望台

蜻蛉池公園は大きな池を中心として周辺をいくつかの丘が取り囲み、老若男女問わず身近に自然と親しめ、遊具の他に、花、スポーツ、BBQも楽しむことができる。公園の奥の高台にある展望台からは、公園内の木々や池、里山の緑、市街地、大阪湾が一望でき、遠くに神戸まで見渡すことができる。まちなみとの調和や自然と共存する魅力ある眺望景観である。



三ヶ山町



18 内畑町の橋から

山滝中学校の裏に抜ける小道の小さな橋にさしかかると突然ひろげる眺望。そこには曲がりくねった牛滝川に囲まれた離島とも思わせる地形に里の風景が広がっている。川、田、畑、農地のビニールハウス、集落の家並み、里山を一体に捉えられる隠れた名スポットである。深く地元民の生活に溶け込んだ景観であり、後世へと継承し、守っていききたい景観である。



内畑町



19 神於山の展望台から

神於山の展望台からは、広大な大阪平野が一望でき、圧巻の大パノラマを見渡すことができる。その景色からは地勢やまちの成り立ち、変化を感じられるため、岸和田を「見る」だけでなく「知る」ことができる。展望台付近では比較的遅い季節まで紅葉があり、ハイキングをしながら近景や遠景を楽しめる。今後も地域固有の魅力を感じさせる市民の誇りとなる景観である。



神於町



ここに残る景観資源の場所は岸和田市ホームページから確認できます。

【検索方法】

市HPから「祭都Naviきしわだ」をクリック



「景観・公園情報マップ」を選択



「景観マップ」を選択してご覧ください



1. たくさん釣りたい

◆この日は僕も釣りに来ていて、1匹も釣ることができなかったです。帰り際に撮りました。後ろの船にはたくさんの魚が乗っているんだろなあと思いきい、僕もたくさん釣りたいなあと思いました。そして、手前の釣人たちにはたくさん魚が釣れるようにと心の中で願って帰りました。(15歳男性)



2. 春の訪れを告げる「いかなご」漁

◆2月末ごろから、大阪府鰯巾着網漁業協同組合がある地蔵浜で水揚げされる「いかなご」。早朝に出港した漁船が帰ってくると港は漁業関係者の活気で溢れます。いかなごを使った「くぎ煮」は、若い頃は食べようと思わなかったけど、年齢を重ねると、春の訪れを感じさせてくれると同時に、祖母や母親の手作りの思い出、漁師さんの仕事風景を蘇らせてくれる1品に変わりました。(45歳男性)



3. 農業まつり

◆毎年開催されていた農業まつり。農産物の販売やステージでの催しなどたくさんの人々が集まり、賑やかなひとの営みを感じられる景観です。今年は残念ながらコロナウイルスによる影響で中止となりましたが、またこのような紅葉の下、多くの人々が集まれる日々が早く戻ってくることを願っています。(32歳男性)



4. 岸和田観音節分

◆いにしえから災害や疫病から身を守るために祈ってきた人々。お参りに来ているたくさんの方の姿に時代が変わっても人々の気持ちは大きく変わらないのだな、と気づかされる。古い時代にも、きっと同じような景色があったはずというノスタルジックな気分になれるひとこま。(44歳女性)



5. 頼もしい応援団と歴史的なまちなみ(本町)

◆いつまでも見守り隊(タイ)! 追っかけ隊(タイ)! 娘と母のド根性風景(応募者: 72歳/男性)



6. 岸和田城とだんじり祭り

◆去年の岸和田だんじり祭りで岸和田城をバックにして撮りました。心に残る伝統はやっぱり岸和田だんじり祭りです。(31歳男性)



7. 古代の人々の営みを感じ私たちは確かめる

◆2018年5月和歌山大学岸和田サテライトと岸和田市図書館との共同企画の「久米田を編集する」という地域の情報をオープンデータとして公開し、地域活性化につなげていくイベントが久米田寺付近で行われた。久米田寺付近は古代から人々の営みが行われ多数の古墳がある。久米田寺のすぐ隣の風吹山古墳の上から市内を見渡すと今の私たちの営みが広がっていた。人の営みをつないでいる景観を実感した瞬間だった。(76歳男性)



8. 久米田寺千本搦き

◆新しい年の始まりの風物詩とも言える久米田寺の千本づき。たくさんの細い杵でお餅を搗く様子は家庭とは違った趣があり、地域の人たちの中で受け継がれてきた営みとしてテーマにぴったりだと思いました。(44歳女性)



9. 田を潤す久米田池

◆写真は、久米田池で、手前の「満水標」の頭が約50センチ見えています。これらの水が、久米田池下流に広がる田を潤し、米を育てた証です。(60歳男性)



10. 東葛城小学校・幼稚園(東葛ふれあいファーム)の田植え風景

◆東葛城小学校・幼稚園では、地域のJAさんと共同し、東葛ふれあいファームでの農業体験が行われている。東葛ふれあいファームでは稲や玉ねぎ、サツマイモなどの作物を育てている。子どもたちはふれあい委員さんやJAの職員の方から、植え付けや収穫について教えてもらう。収穫された作物は、給食としていただいたり、学校に関係のある施設にもっていったりし、活用されている。児童にとって農作業を体験することや食について考えることは、食育の一環となっている。東葛ふれあいファームは学校・園と地域をつなぐ場となっている。6月の田植え体験の様子である。現代の子どもにとって田んぼの中に入り、苗を植え付ける機会は多くない。子どもたちにとって、足から伝わる感触はとても新鮮な様子である。子どもたちの賑やかな声が地域にひろがる。学校と地域の結びつきを感じる風景である。(62歳男性)



11. 木材町の
貯木場周辺

◆木材町の貯木場周辺は様々な景観が楽しめる絶景ポイントです。貯木場の見慣れないブロックやタ日、たくさんのカモメ、近隣の工場の雄大な姿。灯台。釣り人。季節や時間を問わず見どころがあるスポットだと思いますので一度足を運んで頂きたいと思います。(35歳男性)



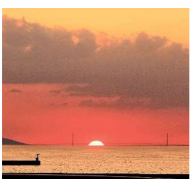
12. 岸和田カンカン
ベイサイドの
岸和田水門

◆健康維持に朝夕毎日のウォーキングは欠かせません。晴天時の朝焼け・夕焼けに遭遇したときは爽快な気分になり何よりも得がたい気分を味わえます！(79歳男性)



13. 岸和田カンカン
ベイサイドの
日の出の風景

◆健康維持に朝夕毎日のウォーキングは欠かせません。晴天時の朝焼け・夕焼けに遭遇したときは爽快な気分になり何よりも得がたい気分を味わえます！(79歳男性)



14. 地蔵浜の夕景

◆健康維持に朝夕毎日のウォーキングは欠かせません。晴天時の朝焼け・夕焼けに遭遇したときは爽快な気分になり何よりも得がたい気分を味わえます！(79歳男性)



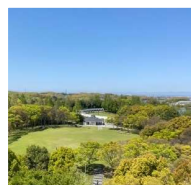
15. 望郷～岸和田城
の天守閣から～

◆私は岸和田市に在住して居りませんが、家内の実家が岸和田(本町)です。城下町の風情の感じられる所です。今まで祭りの当日、お城に入れる事が知りませんでした。天守閣には何度も登っていましたが、当初初めて登りました。江戸時代に殿様も同じような風景を眺めていたのかと思うと何となく楽しくなっていました。チャンスがあれば是非登ってみて下さい。(79歳男性)



16. 神於山

◆たまたま通った道で、見晴らしがよかったので思わず撮りました。神於山にはいくつかの昔話があるらしく、神秘的な雰囲気は昔も今も変わらないのかなと感じました。昔の人もこの山を大切にしていた、「神於山」という名前を付けたのかなと思いました。この景観は、世代を超えたみんなのここに残る景観だと思ったので、これからも大事にしていきたいです。(32歳女性)



17. 蜻蛉池公園
の展望台

◆蜻蛉池公園の展望台から下を眺めると、芝生の広場などの緑が一面に広がっており、遠くに神戸まで見ることが出来ます。ここからの景色を眺めていると、日常を忘れさせられるような気分になりました。(49歳男性)

◆トンボの遊具や大芝生広場は知っている人も多いと思いますが、展望台があるのをご存知でしょうか。展望台の上からは公園の風景を360度見渡せ、天気の良い日には明石海峡大橋が見えます。(44歳女性)



18. 内畑町の
橋から

◆サイクリングの途中に島を発見？内畑町には牛滝川に囲まれたところがあり、島国にきたかと錯覚する場所があります。フェンスや、電柱もないので、いい景色だと思います。(49歳男性)



19. 神於山の
展望台から

◆神於山には、過去に数回登ったことがありましたが、7月中旬、サイクリングでチャレンジしました。展望台まで行くには、かなり急な坂道で自転車を降りる羽目となり、大きな荷物を押しての登山となりました。途中、手も離せない状況で耳元に虫がちょっかいをかけてくるので、自転車で来たことを後悔しましたが、展望台に上って市内を見渡した時、その苦労が吹き飛び、帰りの下り坂は爽快な気分となりました。(49歳男性)



岸和田市景観重要樹木

岸和田市景観重要樹木とは、地域の良い景観を特徴づけ、市民に愛され、今後も保全が必要となるなどの要件を満たした樹木について景観法に基づき指定するものです。



01 奥家の棕 (阿間河滝町)



02 塔原町のサクラ (塔原町)



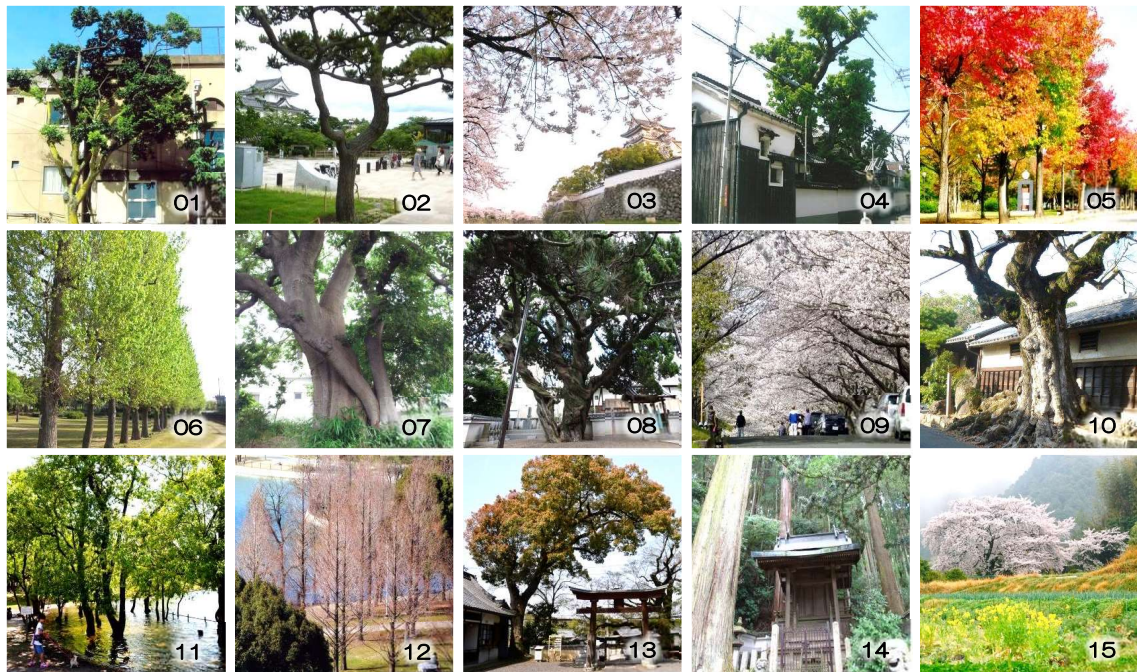
03 吉井町のエノキ (吉井町)

こころに残る景観資源 これまでの指定資源一覧

こころに残る景観資源発掘プロジェクトにより発掘、指定した景観資源は、2022年3月時点で樹木景観15件、みち景観21件、水辺景観15件、まち景観19件、ひとの営み景観10件、眺望景観9件となります。それぞれの景観資源については、パンフレットまたはホームページで紹介していますので、是非、ご覧ください。

こころに残る樹木景観 15件指定

- 01_中央小学校のエノキ
- 02_二の丸公園 マツ
- 03_岸和田城堀端の桜並木
- 04_上町の楠
- 05_中央公園のモミジバフウ
- 06_中央公園のポプラ並木
- 07_吉井町のエノキ
- 08_西向寺のいぶき
- 09_流木墓園の桜並木
- 10_奥家の棕
- 11_蜻蛉池公園のヤナギ
- 12_蜻蛉池公園のメタセコイア
- 13_積川神社の棕と楠
- 14_大沢神社の杉
- 15_塔原町・サクラ



こころに残るみち景観 21件指定



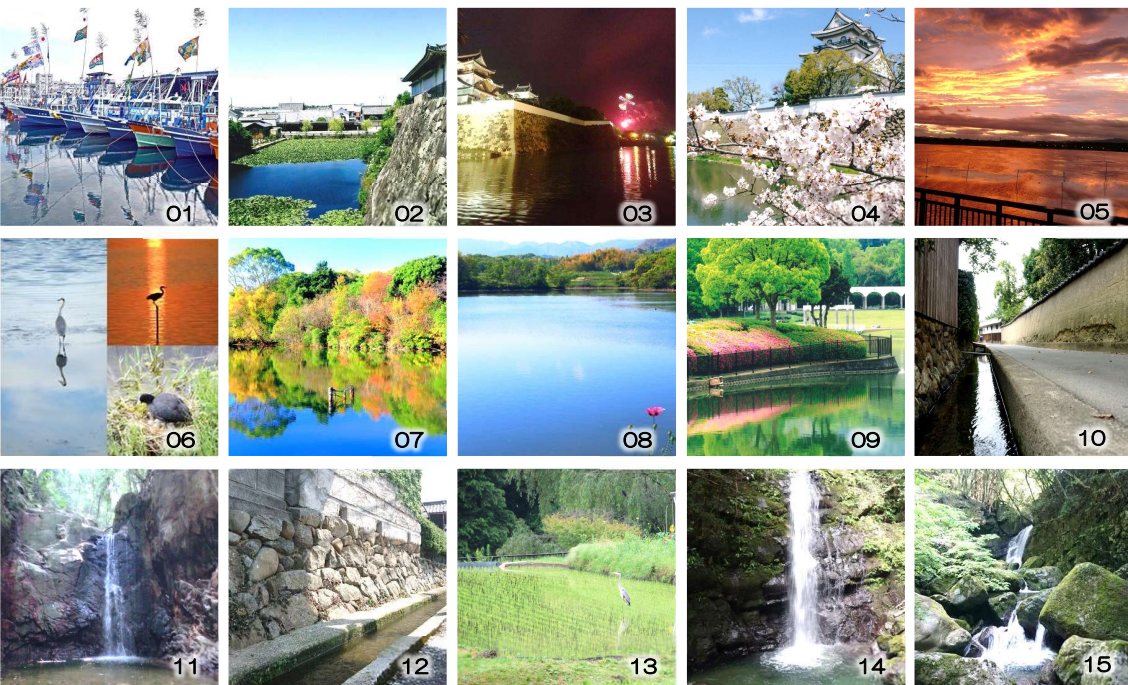
- 01_岸和田大橋（阪神高速湾岸線）
- 02_岸和田港を臨むみち
- 03_堺町のだんじり小屋横
- 04_お寺の道（本町紀州街道）
- 05_南町のみち（紀州街道）
- 06_春を待つ岸和田城の桜道
- 07_春木川遊歩道（兵主神社横）
- 08_久米田寺へ続くみち
- 09_久米田池遊歩道（平成26年度指定分）
- 10_久米田池遊歩道（平成27年度指定分）
- 11_東ヶ丘町グリーンベルトロード・花絨毯

- 12_流木墓園桜並木みち
- 13_阿間河滝の阿弥陀寺への参道
- 14_包近楠本神社もも花参道
- 15_福田町のまちなみ
- 16_牛滝街道（積川町）
- 17_バラの小道（蜻蛉池公園）
- 18_メタセコイアの小道（蜻蛉池公園）
- 19_相川はたる遊歩道
- 20_牛滝いよやかの郷散策道
- 21_和泉葛城山登山道

こころに残る景観資源 これまでの指定資源一覧

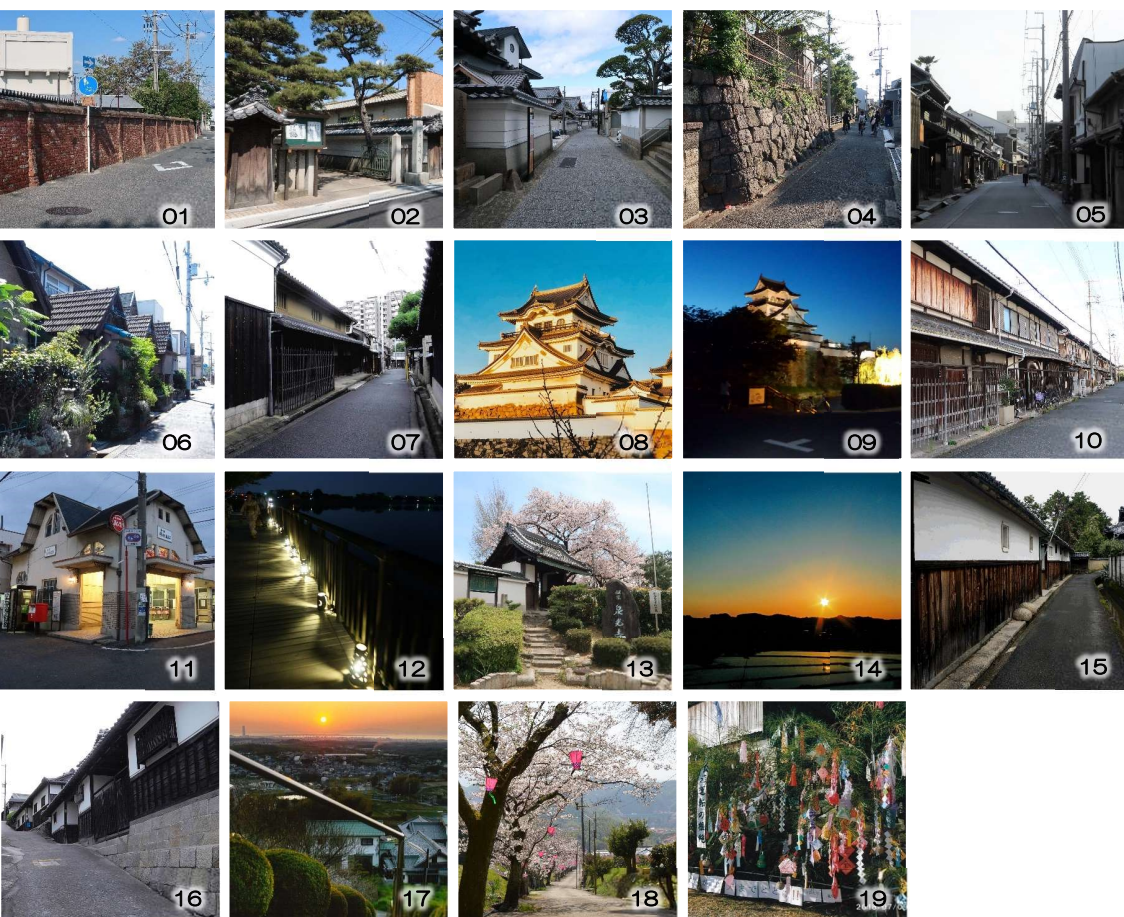
こころに残る景観資源発掘プロジェクトにより発掘、指定した景観資源は、2022年3月時点で樹木景観15件、みち景観21件、水辺景観15件、まち景観19件、ひとの営み景観10件、眺望景観9件となります。それぞれの景観資源については、パンフレットまたはホームページで紹介していますので、是非、ご覧ください。

こころに残る水辺景観 15件指定



- 01_はためく岸和田漁港大漁旗雄々しく
- 02_お堀と城下町
- 03_岸和田城を彩る夏の華
- 04_岸和田城水辺
- 05_久米田池の幻想的なハーモニー
- 06_水鳥と久米田池
- 07_山直中町 錦秋のスリバチ池
- 08_田治米町 ポピー咲く七ツ池
- 09_蜻蛉池公園大池の水鏡
- 10_積川町 水路のある古の町並み
- 11_意賀美神社横 雨降りの滝
- 12_内畑町 田んぼへの水引きの始まり
- 13_大沢町 サギも降り立つ棚田
- 14_牛滝山大威徳寺 一の滝
- 15_牛滝の谷にそそぐ錦流の滝

こころに残るまち景観 19件指定



- 01_時を越えて
(春木中学校の赤レンガ塀)
- 02_春木西福寺
- 03_北町 寺町筋
- 04_中町 城跡の名残り
- 05_本町のまちなみ
- 06_岸城町 マンサード長屋
- 07_宮本町 城見橋への道
- 08_元旦の朝日に映える岸和田城
- 09_輝く岸和田城
- 10_岸城町 十六軒長屋
- 11_蛸地蔵伝説を伝えるレトロ建築
(南海蛸地蔵駅)
- 12_久米田池の夏祭り
- 13_泉光寺と桜
- 14_日没前 (山直南地区)
- 15_積川町 元本街道のまちなみ
- 16_阿間河滝町 長屋門坂
- 17_夕暮れの北阪
- 18_神於寺の参道
- 19_白原峠の星祭り (東葛城にて)

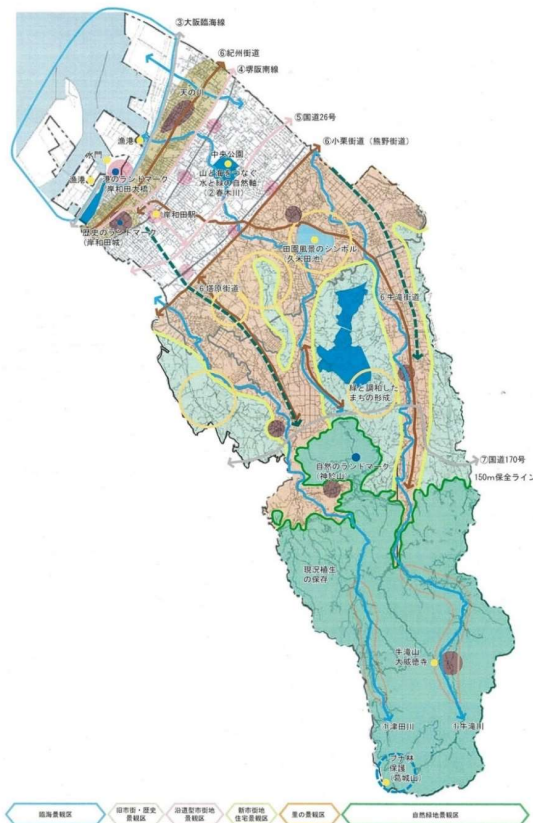
プロジェクトの系譜

岸和田市景観計画

岸和田市景観計画は、恵まれた自然・歴史・文化資産を活かし、岸和田市にふさわしい風格ある景観づくりに努めることで、更に岸和田らしい魅力あふれた快適なまちとして、これを次代の市民、事業者を引き継いでいくことを目的に策定しています。

景観形成の基本目標である『豊かな自然環境と歴史的環境が織り成す「個性的快適環境都市」の創生』を実現するためには、市民、事業者、行政が総合的かつ多面的にお互いの立場を理解しながら協力し、優れた景観をまもり、はぐくみ、つくりだし、次の世代へつないでいく必要があります。

基本景観区	主な土地利用
臨海景観区	工業、港湾
旧市街・歴史景観区	住宅、商業
沿道型市街地景観区	住宅、商業、工業
新市街地住宅景観区	住宅、商業
里の景観区	農地、樹林地
自然緑地景観区	樹林地



ここに残る景観資源発掘プロジェクト

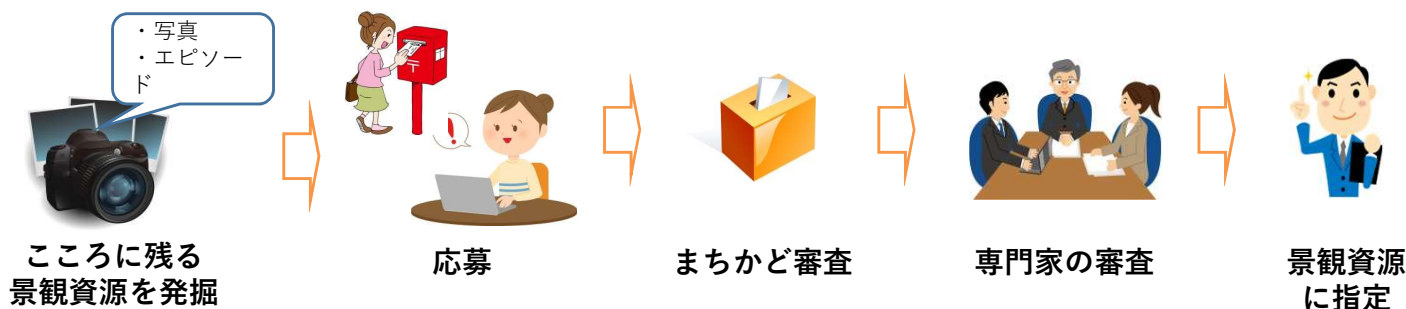
ここに残る景観資源発掘プロジェクトは、地域の景観の核となる資源を発掘し、その情報を蓄積、共有していくことで地域の魅力を高め、郷土への愛着や誇りの醸成と地域価値の向上に寄与するなどの効果を創出する事を目的として平成24年度よりプロジェクトを実施しています。

指定状況（2022年3月現在） 樹木景観15件、みち景観21件、水辺景観15件、
まち景観19件、ひとの営み景観10件、眺望景観9件



まちかど審査の様子

プロジェクトの流れ



「未来へつむぐ物語」

「景観十年・風景百年・風土千年」と言われるように、私たちの日々の営みが、いつか時を経て、風土としてその土地に息づくことを想定しながら、「未来につなぐ」景観形成に取り組むことが重要だと考えられます。これまで、優れた景観形成に寄与する地域の人々に大切に守られてきた「樹木」「みち」「水辺」「まち」「ひとの営み」について景観資源を発掘し、その情報を蓄積、共有に努めています。

「ここに残る景観資源発掘プロジェクト」の詳しい内容は岸和田市ホームページからご覧いただけます。

岸和田市ここに残る景観資源

検索



ここに残る景観資源発掘プロジェクトはこちら



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて世界が共通した「持続可能な開発目標」です。

問合せ先：岸和田市まちづくり推進部都市計画課 景観担当
〒596-8510 岸和田市岸城町7-1 ☎072-423-9538（直通）